
御徒町樹里の冒険外伝 私が美少女ユーマなのよん！

神村律子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

御徒町樹里の冒険外伝 私が美少女ユーマなのよん！

【Nコード】

N9432J

【作者名】

神村律子

【あらすじ】

私はユーマ。怪力無双の美少女なのよん。

私はユーマ。史上最強の女子高生よん。

実は私は本当はまゆみって言うのよん。

日本国籍なのねん。でも、ハーフだから、金髪で青い目なのよん。

何故か異世界に召喚されたのねん。で、戦士になったのよん。

私は戦うのが好きなのよん。

私を召喚したのは、魔王コンラ様。

この人、もの凄い美人なのねん。

しかも、私にはない色気を持っているのよん。羨ましいわん。

それから、コンラ様の生き別れの妹の樹里様を探すように言われたのねん。

私は樹里様を探す旅に出たのねん。

でも、私は真面目に探す気なんかなかったのねん。

コンラ様に授かった力を試すために、私はいろいろな連中とファイトしたのねん。

みんな弱過ぎて話にならなかったのよん。

そしたら、嬉しい事に、樹里様の居場所を知っている男に出会ったのよん。

「お前、確かに強いな。でもな、もっと強い奴がいる」

「誰よん？　もしかして、矢田通だったら戦わないわん」

私が冗談を言ったら、そいつは首を横に振って、

「違うぜ。相手は御徒町樹里おかちまち じゅりっていう、可愛い子だ。多分、お前なんかよりずっと可愛いぜ」

と言ったのねん。

憎らしいので、ボコツたわん。

私より可愛い？　私より強い？

許せないわん。強いのはともかく、可愛いのは絶対許せないのよん。

コンラ様の命令と、私の目的が一致したのねん。

私はすぐに樹里様がいるという迷いの森に行ったのよん。

「樹里様はいますか？」

私は森の外から中に呼びかけたのねん。すると、

「いらっしやいませ」

といきなり後ろから樹里様が現れたのよん。

「び、びっくりしたあ！」

私はちびってしまいそうだったわん。

替えのおパンツ持っていないから困るのよん。

確かに可愛いけど、私ほどではないわん。

「何でしょうか？」

樹里様はニコニコして尋ねて来たわん。

「私は貴女を探していましたわん。勝負して下さいよん」

きっと断られるわん。そしたら、いっぱい悪口言って、挑発してあげるわよん。

「いいですよ」

あっさり承諾されて、ずっこけたのねん。

「では行くのねん」

「いつでもどうぞ」

樹里様は、全然戦闘態勢ではないように見えたのねん。

私は一秒でケリを着けるつもりで突進したのよん。

「ゲッ」

でも、確かに一秒でケリは着いたけど、負けたのは私だったのねん。

「参りましたわん」

「ありがとうございました」

樹里様はニコニコしたまま、迷いの森に帰って行ったのねん。

私は戦いに負けて、可愛さでも負けた気がしたわん。

そして、樹里様が見つかったので、コンラ様にお知らせに行こうとしたのねん。

でも何故か、私はコンラ様のところに行けなくなってしまったのよん。

コンラ様のいるお城がどこかわからなくなったのねん。

私がおバカだからじゃないわん。

何者かが、コンラ様の気を封じ込めたのねん。

何が起こったか、私にはわからないのよん。

でも、必ずコンラ様を見つけ出すわん。

早くしないと、本当に樹里様の居場所を忘れちゃうからよん。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9432j/>

御徒町樹里の冒険外伝 私が美少女ユーマなのよん！

2011年1月16日01時05分発行